

気候変動新聞

発行 22世紀八幡ルネッサンス運動

NP022 世紀八幡ルネッサンス協会

〒614-8037 京都府八幡市八幡高畑 10-76

電話 075-981-6505 090-3710-4842

状況の把握ができていないのが大問題だ

気象庁は2023年から昨年までの3年間、これまでで一番暑かったと報告し、その上で今年はさらに暑くなる可能性を指摘している。国連のグテレス事務総長は会見の度に、気候変動が人類の生存に大きな危機をもたらしていると警告している。それに比べると日本では高市首相が昨年11月にブラジルで開かれたCOP30の首脳会合に欠席したり、温暖化対策で後ろ向きだとして「化石賞」をもらうなど不名誉な事態が続いている。

足元の京都府知事や八幡市長には引き続き、温暖化対策への前向きな対策を望みたい。

国連環境計画（UNEP）によると、24年の温室ガス排出量が最も多かったのは中国で156億トン。

米国59億トン、インド44億トン、EU32億トン、ロシア26億トンとなっている。

日本の排出量は、環境省によると23年で11億トンとしている。排出量は毎年増大している。不思議なことに政府や企業も含む排出量削減に向けた取組みの中、なぜ削減が進まないのか。この理由について47都道府県の人々に説明されていないし、声も聞かれないことである。排出量削減に取り組むか、取り組まないかに触れることは大事だが、もっと重要なことは、どんなことに悩みをもっているかを知る事である。やるか、やらないかではなく、現在の状況や気持ちといったものを、率直にみんなの前に出していく、行動というか、勇気というか、そういったものが大切なはずだ。私たちは明らかに排出量削減や解決すべき事がらなどから取り残されている。状況の把握ができていない。盲目的な活動を卒業するべきだ。（文責 伊藤錚治）



気候変動を憂う

土井重悟

今日もまた暑かったねと虫の声

迷惑ばかりかけてごめんね

海水の温度も上がり秋刀魚来ぬ

漁師戸惑ひ味気なき秋

洪水とひでりに土地は痩せこけて

野菜確保もままならぬ日々

この地球どこまでこらえきれぬやら

いくさなどする余裕のないに

ともかくも持続可能の世の中に

知恵を絞れば希望はもてり

2026.3.29

クイズ正解

Q9.2 Q8.3 Q7.2 Q6.2 Q5.2
Q4.2 Q3.3 Q2.3 Q1.1

編集後記

5号まで来ました。しばらく、これまでのやり方を続けていきます。

皆様から新聞掲載用原稿（400字～800字）及び編集委員を求めています。御連絡お待ちしております。

編集委員 佐藤長作、石野喜幸、中村隆資 （編集長 伊藤錚治）

再生可能エネルギーについて考える

長崎県・五島列島最大の福江島付近には、浮体式洋上風力発電の施設があります。2011年の原電事故を機に環境省による風力発電の試験地として五島市に建設されたものです。

2026年1月商用運転を開始、五島フローティングウィンドファーム合同会社が建設した風力発電設備で準大手ゼネコンの戸田建設などの大企業が出資する合同会社です。

そのままでは、五島の再エネ資源が大企業に利益をもたらすことになってしまいます。五島市民は地域新電力の五島市民電力株式会社を設立し、電力販売による収益が地域経済を循環する仕組みをつくりました。

発電設備の建造拠点を五島市に誘致、地元企業でまかない、建造に必要な資材なども、市内で調達。運転管理も市内の企業を採用しています。それによる雇用も創出しています。

風力発電の電気を五島市民電力が買い取り販売します。五島でつくられた電気によって地域経済の循環がつけられます。そうした取り組みは、二酸化炭素削減の道を示しているといえます。

日本では、発電量が電力消費を上回りそうな場合、原発の電力を優先的に供給して、火力発電も停止せず、太陽光や風力発電を受け入れを止める出力抑制をしています。ほかの国では、再エネ電力を優先供給しています。日本は、原発優先で、再エネの電力を捨てています。二酸化炭素の排出削減に逆行しています。（文責 さとうちようさく）

以下の参画企業から再エネの道に進むことは可能ではないでしょうか。

事業名称：五島市沖洋上風力発電事業

事業主体：五島フローティングウィンドファーム合同会社

発電設備：浮体式洋上風力発電設備 16.8MW（=2.1MW機×8基）

（全長176.1m、ローター径80m）

所在地：長崎県五島市沖

運転開始：2026年1月5日

参画企業：戸田建設株式会社、ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社、

大阪ガス株式会社、株式会社INPEX、関西電力株式会社、中部電力株式会社

環境検定三択クイズ

Q1 ペットボトルは資源ごみに出したあとどうなる 1.リサイクルして新しいものに 2.肥料化施設で肥料になる 3.最終処分場で埋め立て	Q2 特定外来生物に対する行動として正しい事はどれ 1.野外に放す 2.持ち帰って育てる 3.生きたまま移動させない	Q3 「特定外来生物」で禁止されている事は 1.生きたまま移動させる事 2.家で飼う事 3.1, 2どちらも
Q4 太陽光発電は何エネルギーと言う 1.移動可能 2.再生可能 3.保存可能	Q5 温室効果ガスをへらすための取組みは 1.電気のつけっぱなし 2.残さず食べる 3.水道の出しっぱなし	Q6 地球の平均気温は、200年前とくらべて 1.下がっている 2.上がっている 3.変わらない
Q7 食品がまだ食べられるのに捨てられてしまう事を 1.食品ごみ 2.食品ロス 3.食品アウト	Q8 水のとてもきたない川に くらしている生き物は 1.ゲンジボタル 2.サワガニ 3.アメリカザリガニ	Q9 森のはたらきとして間違いは 1.水をたくわえる 2.酸素をたくわえる 3.動植物のすみかとなる

※引用元：岐阜県山県市「環境エコ検定」